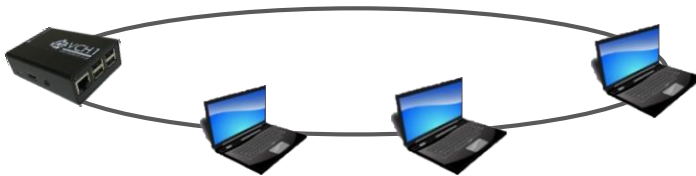


## 在宅勤務を革新的に推進する新製品のお知らせ

### フルHDビデオ会議システム「ビデオ会議ハブ VCH1」

データバースト株式会社は、在宅勤務などのテレワークを革新的に推進するために、高性能で低価格なビデオ会議サーバー「ビデオ会議ハブ VCH1」の提供を2018年11月に開始します。ビデオ会議ハブ VCH1を使えば、オフィスや自宅など多拠点を高品質な映像でつなぎことができ、場所が離れていることによる相互理解の不足、一体感の欠如などに悩むことなくテレワークを進めることができます。



#### 【製品名、価格、発売時期、計画】

製品名	ビデオ会議システム
モデル名	ビデオ会議ハブ VCH1
発売時期	2018年11月
販売価格	14万8000円(消費税別)
販売計画	2500台(3年間)

#### 【背景】

近年の働き方改革の動きの中で、在宅勤務などの多様な働き方がクローアップされており、距離と時間の制限をなくすことで、より多くの働く機会を作れることが期待されています。この動きを推進するためには、離れて働く方々が、ばらばらになるのではなく、緊密にコミュニケーションを行い、協力して働ける仕組みが重要となります。

従来の高性能なテレビ会議システムは、フルHD画質のカメラ映像でその場にいるような臨場感が得られ、その有用性は認識されていましたが、導入コストが高く、各拠点に専用の機材を必要とするなどの点でより幅広く普及するためには課題がありました。

一方、インターネットに接続された会議サーバを介してパソコン間で遠隔会議を行うWeb会議サービスの場合、どこからでも会議に参加できパソコンの資料を共有できるという便利さがありますが、高解像度の映像データを多拠点でやり取りする場合、大量の通信データが流れるため安定した通信が困難になることがあるという課題がありました。

ビデオ会議ハブ VCH1は、最新の半導体技術を利用し、独自の映像通信技術とソフトウェア技術を組み合わせることによりこれらの課題を解決し、高品質な映像通信システムによるテレワークの推進を目指した製品です。

#### 他システムとの比較

	テレビ会議システム	Web会議システム	ビデオ会議ハブ VCH1
画質	◎ フルHD	△ HD以下、通常低解像度で使用	◎ フルHD
資料共有	○ PC接続必要	◎ 多様な資料共有	◎ 多様な資料共有
接続性	△ 設置拠点間の接続	○ 契約すればどこからでも接続可	○ 接続相手制約なし
コスト	△ 拠点毎に専用機材必要	○ 毎年契約費用必要	◎ 低価格で購入可

#### 【製品の概要】

ビデオ会議ハブ VCH1は、手のひらに載るサイズで消費電力10W以下のビデオ会議サーバーです。専用機材を使うテレビ会議システムとパソコンを使うWeb会議システムの特長を兼ね備えています。

テレビ会議システムに匹敵するフルHD解像度の映像通信が可能です。また、画面共有やホワイトボードなどのWeb会議システムのような使いやすい資料共有機能も持っています。

インターネットに接続すれば世界中からアクセスできるビデオ会議システムとなります。社内ネットワークの内部に設置してセキュアに運用することもできます。



## 【主な特長】

### 1. テレビ会議システムに匹敵する高画質

フルHD解像度(1920 x 1080ドット)、30フレーム/秒の画質でビデオ会議を行うことができます。細かい表情の変化まで伝えることができ、実際に対面しているかのような臨場感のあるコミュニケーションが可能です。

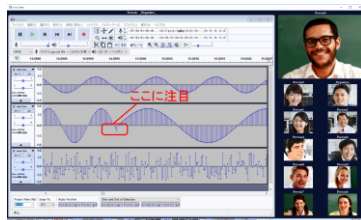
各パソコンのカメラ解像度を最適に自動制御し、サーバーの通信帯域幅に合わせて映像データ量を細かく制御する独自の技術により、トータル映像データ通信量を抑制し、高価なMCU(多点接続装置)を使用せずに多数台(最大20台)のパソコンが会議に参加できるようになりました。



### 2. 使いやすい資料共有機能

パソコンの画面表示を共有する高精細な画面共有機能、ファイルをアップロードして共有するファイル共有機能、自由に書き込めるホワイトボードなど基本的な資料共有の機能が備わっています。

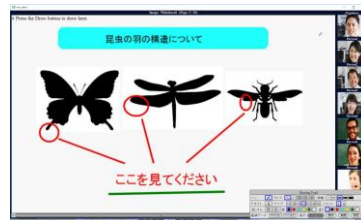
どのパソコンからも共有画面などの資料への描画や表示の拡大、縮小などの操作を行うことができます。表示の変更はすべてのパソコンで連動しますので、説明や議論のポイントを共有することができます。また、操作に慣れていない方も安心して参加できます。



画面共有



ファイル共有



ホワイトボード

### 3. 圧倒的な低価格

ビデオ会議サーバーのソフトウェアを専用設計し、無駄なく高速動作するように作成することにより、低消費電力の汎用小型ハードウェアで動作できるようになりました。これにより、他の会議サーバー製品に比べて大幅な低価格化が可能となりました。

さらに、必要な機能を絞り込むことによって、ソフトウェアの規模と開発コストを抑え、専用機材を使うテレビ会議システムやオンプレミス型のWeb会議サーバーはもちろん、クラウド型のWeb会議サービスと比較しても低価格で提供できるようになりました。

これまでの高品質な映像通信システムは、高い効果が期待されても、その導入コストも高いことが課題でした。ビデオ会議ハブは、これまで導入に踏み切れなかった多くのケースに応え、フルHDの映像通信を普及させることを目標としています。

## 【今後の取り組み】

評価機の無償貸出しなど導入支援を積極的に行います。また、アフターサービス、顧客満足度の向上に努めていきます。

## 【主な仕様】

接続パソコン数	最大20台
カメラ解像度	最大フルHD解像度(1920 x 1080ドット)
映像コーデック	H.264 または MPEG4
音声サンプリング周波数	16kHz、22.05kHz または 44.1kHz
音声コーデック	Speex (サンプリング周波数16kHz) Nellymoser (サンプリング周波数22.05kHz以上)
ノイズ抑制機能、エコーキャンセラー	内蔵
登録可能ユーザー数	200
データレイアウト	4種(全面データ、大部分データ、半分データ、ビデオ優先配置)
ビデオレイアウト	4種(均等、2ビデオ大、1ビデオ大、1ビデオ単独配置)
カメラ解像度制御機能	内蔵。カメラ解像度と映像データ量をシステム全体で最適制御
サーバー帯域検出機能	内蔵。ネットワーク帯域を検出して、各映像、音声データに最適に分配
パソコン帯域測定機能	内蔵。パソコンの上り回線が低速でも会議参加可能
暗号化	映像、音声、共有資料、制御情報すべて暗号化可能
SSL/TLS	TLS1.2使用可能(サーバー証明書、秘密鍵のインストール必要)
LANインターフェース	100BaseTX (100Mbps)

## 【データバースト株式会社について】

データバースト株式会社は、高性能で使いやすいHDビデオ会議システムの普及を目的として2018年夏に浜松で設立されました。高精度でセキュアな映像通信による働き方の改革や改善を通して、エコで持続可能な世界の実現のためのお役に立つことを目指します。

所在地は浜松の東の安間町で、金原明善翁生家の中にあり、古い建物のなかにはいくつか若い会社、事業が入っているような環境にあります。

本社: 〒435-0012 浜松市東区安間町1番地 金原明善生家内蔵2

代表者: 代表取締役 玉井和司

設立: 2018年8月29日

資本金: 300万円

Tel: 053-443-8005

Fax: 053-443-8006

URL: <http://www.databurst.co.jp>

事業内容: ビデオ会議システムの開発、製造

## 【お問い合わせ先】

データバースト株式会社 サポート窓口

メール: [support@databurst.co.jp](mailto:support@databurst.co.jp)

Tel: 053-443-8005